

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 (E-mail:info@haikukoushien.com)
〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10-2
TEL:089-943-1512(平日13:00~17:00) FAX:089-948-4819
松山市役所 文化・ことば課 (E-mail:bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp)
〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2
TEL:089-948-6952(平日8:30~17:15) FAX:089-934-1287

白熱した戦いをみせた第20回大会が幕を閉じ、早くも4カ月が過ぎようとしています。俳句甲子園は次の大会へ向けて準備を進めています。様々な形で俳句甲子園に関わっていただけたらと思います。

『全員が主役。全ての人が、それぞれに』

広島高校OG 青山ゆりえ

今回は、広島高校OGで公式作品集第6号編集長の青山ゆりえさんに、第20回俳句甲子園公式作品集に込めた思いについて、文章を寄せていただきました。

「どんな作品集が作りたい？」前編集長から問われたとき、私は「俳句甲子園に関わる全ての人に、自分が主役として輝いていた瞬間を思い出してもらえたい」と答えた。編集部全員の作る本であるのだから、編集部員にも「このページは自分がいたからできたページだ」と思ってもらいたい。『全員が主役』。そういう思いから、公式作品集第6号の編集部は出発した。

その思いをそのまま載せた企画が、第6号の目玉「高校生の思い」。「私たちにとって俳句甲子園とは」である。当日現地にいた編集部員の大西菜生さん、谷口理文さん、長谷川凜太郎さん、柳元佑太さんと



れた時間での膨大な仕事であったにも関わらず、編集部の方々は、私の思いに十二分に応えてくれた。

『特別インタビュー』は、高校生はもちろんのこと、俳句甲子園で俳句に出会い、今なお俳句を続けながら

も、俳句甲子園で得たもの、次のステップでどう昇華したらよいか悩むOBOGにも大人の言葉を届ける、という目的で内容を決めた。そこにつづられた言葉を「自分に向けて発された言葉だ」と、今後

子規・漱石生誕150年記念 第20回俳句甲子園公式作品集

【内容】

- 地方大会・全国大会に提出された高校生の全作品
- 大会結果&入賞作品
- 【特別インタビュー】神野紗希&高柳克弘 両審査委員長 「俳句甲子園での鑑賞とは」

- 俳句甲子園OBOGが「全国大会・地方大会」作品を鑑賞
- 高校生の「大会参戦記」
- 【記念企画】高校生の思い！「私たちに」

- 【価格】1,000円(税込)
- 【購入方法】NPO法人俳句甲子園実行委員会ホームページ(<http://www.haikukoushien.com/>)から購入できます